

施策番号	1303		
施策名	次世代を育むすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり		
概要	子育てしやすい生活環境の整備や子育て家庭への経済的支援，保育サービスの充実，ひとり親家庭の自立促進などにより，子育てに生きがいを感じられる社会づくりを進める。		
担当局・部室	保健福祉局・子育て支援部	共管局・部室	
上位政策	13 子育て支援		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市未来こどもはぐくみプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 延長保育実施箇所数(夜間延長保育を含む)(箇所)	a	a	192	195	195	100.0%	a	1.00
2 一時保育実施箇所数(箇所)	a	a	50	50	50	100.0%	c	1.00
3 休日保育実施箇所数(箇所)	b	b	6	7	7	100.0%	a	1.00
4 ひとり親家庭支援センター利用者数(人)	a	a	2,030	2,109	2,030	103.9%	a	1.00
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
			客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 子どもの見守り活動など，身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる。	78	204	144	45	20	491	b
	15.9%	41.5%	29.3%	9.2%	4.1%		
2 働き方の見直しや男性の育児参加など，仕事と子育ての両立に取り組むひとや企業が増えている。	15	83	229	92	54	473	c
	3.2%	17.5%	48.4%	19.5%	11.4%		
3 -							-
4 -							-
5 -							-
市民生活実感調査総合評価							b

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					26年度	A
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 対象者が子育て世帯やひとり親家庭という限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						25年度	A
(原因分析) 【客観指標】●延長保育実施箇所数に関しては3箇所、休日保育実施箇所数に関しては1箇所増え、京都市未来子どもプランで設定した目標を達成し、いずれもa評価と高い評価で安定している。 ●一時保育実施箇所数に関しては、京都未来子どもプランで定めた平成26年度の目標を前年度に既に達成したこともあり、実施箇所が増加しなかったため、a→c評価となった。 ●ひとり親家庭支援センターでは、既存事業の開催回数を増やしたことや広報に努めたことにより、利用者が前年度に比べて増加し、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】●子育て支援については、地域ぐるみの子育て支援に関する気運の高まりや環境づくりにより、昨年度に引き続きb評価と安定している。 ●仕事と子育ての両立に取り組むひとや企業については、多様な保育サービスの提供により、育児と仕事の両立支援のための環境整備は進んでいるものの、約半数の方が「どちらとも言えない」と回答されるなど、市民や企業に対する保育サービスの啓発や周知が不足していることにより、市民に広く実感されるには至っておらず、c→c評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	高校進学・修学支援金支給事業	622,900	544,189	良い	保健福祉局
2	ひとり親家庭等医療費支給事業(旧母子家庭等医療費支給事業)	1,195,242	1,201,945	普通	保健福祉局
3	子ども医療費支給事業	1,812,825	2,071,257	良い	保健福祉局
4	保育料徴収対策	124,523	125,238	良い	保健福祉局
5	民間保育所一時預かり事業	104,072	70,934	良い	保健福祉局
6	公営保育所地域子育て支援事業	291,077	286,443	普通	保健福祉局
7	交通遺児入学祝金支給	623	1,221	普通	保健福祉局
8	京(みやこ)・いきいき子育てサポート事業	33,104	34,337	かなり良い	保健福祉局
9	母子寡婦福祉連合会事業補助	1,510	1,510	普通	保健福祉局
10	母子家庭自立支援給付金及び父子家庭自立支援給付金事業	143,075	132,813	普通	保健福祉局
11	京都市ひとり親家庭等日常生活支援事業	22,981	15,025	普通	保健福祉局
12	京都市子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)事業	144,160	168,733	良い	保健福祉局
13	産前産後ヘルパー派遣事業	7,913	8,151	良い	保健福祉局
14	子育てサロン等運営アドバイザー派遣事業補助	5,354	5,354	かなり良い	保健福祉局
15	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	-	12,845	-	保健福祉局
16	ひとり親家庭支援センター運営	17,485,413	22,151	-	保健福祉局
17	野菊荘大規模改修整備補助事業	75,189	-	-	保健福祉局
18	青葉寮移転再整備事業	161,420	324,376	-	保健福祉局
19	子育て世帯臨時特例給付金支給事務	1,341,186	637,170	-	保健福祉局
20	和敬学園大規模改修整備補助事業	-	79,431	-	保健福祉局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 地域のバランスや保育ニーズを勘案しながら、延長保育、一時保育、休日保育の実施箇所数を増やしていくとともに、多様な保育サービスの拡大に取り組み、子育てしやすい環境を市民が実感できることを目指す。
- ひとり親家庭支援センターにおいては、引き続き事業内容の充実や積極的な広報を進め、利用者の増加を目指す。
- ワーク・ライフ・バランスの定着に向け、企業や勤労者をはじめ、社会全体の理解や合意形成を図るための広報・啓発等に取り組む。

施策名	1303	次世代を育むすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり				
指標名	延長保育実施箇所数（夜間延長保育を含む）（箇所）					
担当課	保育課	連絡先	251-2390			
1 指標の説明						
保育標準時間を超えて保育を実施している保育所数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
多様な保育サービスを提供するための取組状況を示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移	目標値		
数値	192	195	3箇所増	数値 195	根拠 平成21年度現況値（179箇所）と平成26年度目標値から、各年度の目標を等差的に算出	
	全国順位	中長期目標			備考 今後は京都市未来こどもはぐくみプランに基づき新たな目標数値で評価する。	
数値		数値 195	目標年次 26年度	達成度 100.0%		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値が前回数値から a：実施箇所数3箇所以上増 b：実施箇所数2箇所増 c：実施箇所数1箇所増 d：実施箇所数増減なし e：実施箇所数1箇所以上減			当該指標については、「京都市未来こどもプラン」に基づき、実施箇所数を増やしていく必要があるが、地域の状況等に応じて実施保育所の見直しも必要となることから、実施箇所数の増減を評価基準として採用した。		25 26 27 a a a	
指標名	一時保育実施箇所数（箇所）					
担当課	保育課	連絡先	251-2390			
1 指標の説明						
認可保育所等に入所していない児童の一時的な保育を実施している保育所数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
多様な保育サービスを提供するための取組状況を示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移	目標値		
数値	50	50	増減なし	数値 50	根拠 平成21年度現況値（42箇所）と平成26年度目標値から、各年度の目標を等差的に算出	
	全国順位	中長期目標			備考 今後は京都市未来こどもはぐくみプランに基づき新たな目標数値で評価する。	
数値		数値 50	目標年次 26年度	達成度 100.0%		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値が前回数値から a：実施箇所数2箇所以上増 b：実施箇所数1箇所増 c：実施箇所数増減なし d：実施箇所数1箇所減 e：実施箇所数2箇所以上減			当該指標については、「京都市未来こどもプラン」に基づき、実施箇所数を増やしていく必要があるが、地域の状況等に応じて実施保育所の見直しも必要となることから、実施箇所数の増減を評価基準として採用した。		25 26 27 a a c	

施策名	1303	次世代を育むすべての家庭を支援し支え合えるまちづくり				
指標名	休日保育実施箇所数（箇所）					
担当課	保育課	連絡先	251-2390			
1 指標の説明						
休日・祝日等における保育を実施している保育所数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
多様な保育サービスを提供するための取組状況を示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移	目標値		
数値	6	7	1箇所増	数値 7	根拠 平成21年度現況値（5箇所）と平成26年度目標値から、各年度の目標を算出	
	全国順位	中長期目標			備考	
数値		数値 7	目標年次 26年度	達成度 100.0%		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値が前回の数値に対して a：実施箇所数1箇所以上増 b：実施箇所数増減なし c：実施箇所数1箇所減 d：実施箇所数2箇所減 e：実施箇所数3箇所以上減			当該指標については、「京都市未来こどもプラン」に基づき、実施箇所数を増やしていく必要があるが、地域の状況等に応じて実施保育所の見直しも必要となることから、実施箇所数の増減を評価基準として採用した。		25 26 27 b b a	
指標名	ひとり親家庭支援センター利用者数（人）					
担当課	児童家庭課	連絡先	251-2380			
1 指標の説明						
京都市ひとり親家庭支援センターで実施している主な事業の利用者の延人数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
子どもを共に育むまちの発展に向けた母子家庭等への支援状況を示す指標			算出方法：ひとり親家庭支援センター事業実績報告に基づく、主な事業の利用者の延人数 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移	目標値		
数値	2,030	2,109	79人増	数値 2,030	根拠 過去5年間の最高値	
	全国順位	中長期目標			備考	
数値		数値	目標年次	達成度		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新の数値が a：目標値以上 b：目標値未満～上中間値（目標値と平均値の間）以上 c：過去5年間の上中間値未満～平均値以上 d：過去5年間の平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：過去5年間の下中間値未満			利用者数が毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値を基に、目標値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を作成した。 最高値：2,030（平成25年度） 平均値：1,795 最低値：1,468（平成21年度）		25 26 27 a a a	